

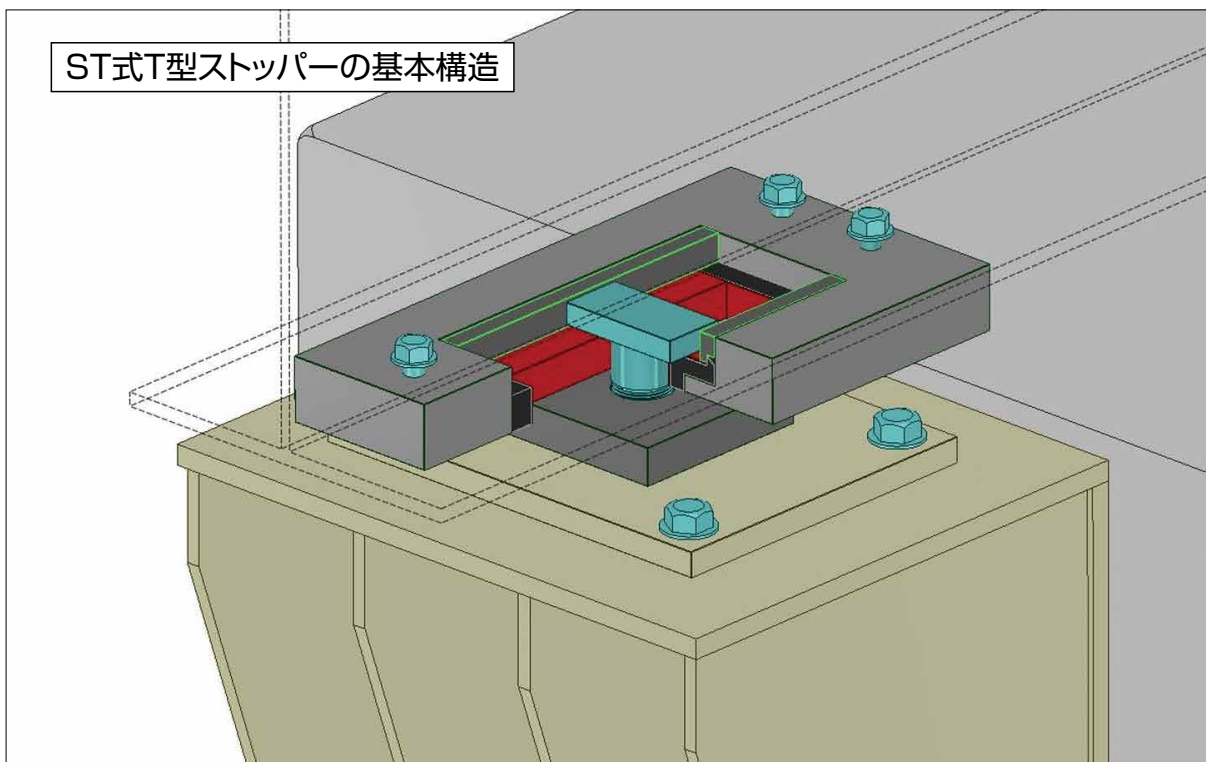
ST式T型ストッパー

はじめに

ST式T型ストッパーは地震によって生じる橋桁の橋軸方向、橋軸直角方向の変位を抑制する変位拘束装置です。構造がシンプルで施工性に優れており、コンクリート桁橋、鋼桁橋の双方に対応可能です。

上部構造の落下防止対策として、当製品は落橋防止システムを構築する有効な手段となります。

ST式T型ストッパーの基本構造

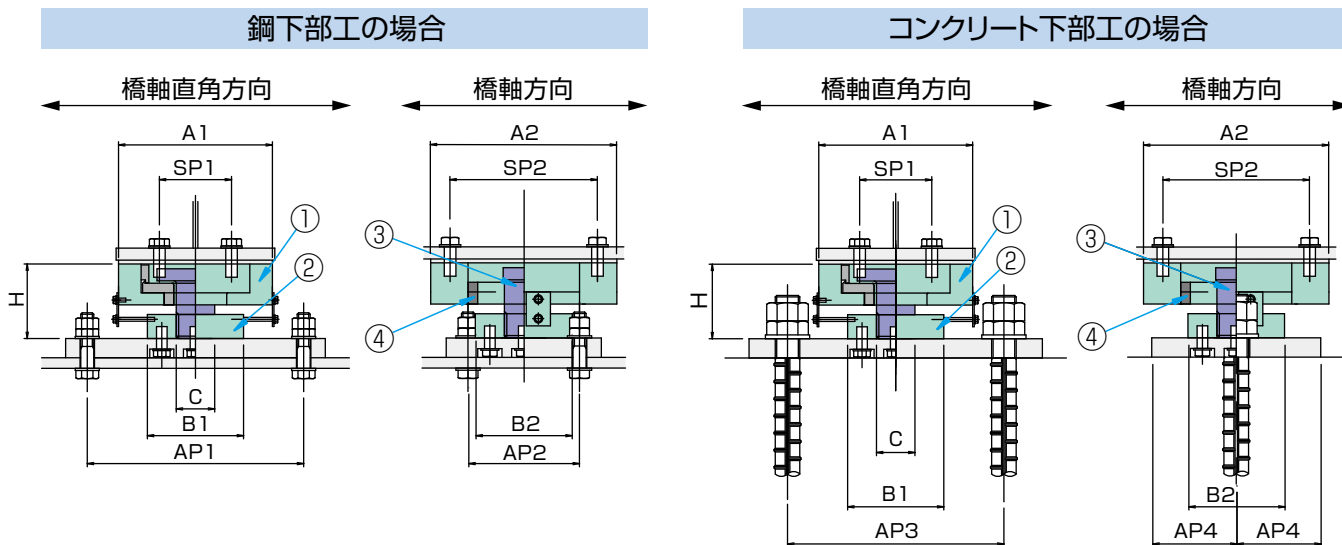


特長

1. コンクリート桁、鋼桁の双方に使用でき、地震時慣性力に応じた構造設計が可能です。
2. 大部分を圧延鋼材の組合せにより製作するため、自由な形状の設計が容易になります。
3. すべり緩衝ゴム(クロロブレンゴム)が水平力、上揚力を緩和します。
4. 防錆処理は通常の亜鉛めっきより、防錆効果の高いSGめっき及び二重防錆SGめっき+ナイロンコートを使用環境に合わせて採用できるため、LCCの向上が図れます。
5. 諸条件により一般タイプ及び上揚力対応タイプが選択できます。

ST式T型ストッパー

基本構造断面図



基本寸法表

単位：mm

タイプ	設計遊間	A1	A2	B1	B2	C	H	SP1	SP2	AP1	AP2	AP3	AP4
200kN	0～55	290	260～360	180	180	60	140	150	200～300	400	170	400	115
300kN	0～55	300	270～370	200	200	70	145	150	200～300	450	230	450	150
400kN	0～55	320	330～430	200	200	80	155	150	250～350	450	230	450	175
500kN	0～85	340	340～490	230	230	80	160	200	250～400	500	260	500	175
600kN	0～85	370	340～490	230	230	90	165	200	250～400	500	280	550	200
700kN	0～85	390	450～600	250	250	90	170	200	370～520	550	320	600	225
800kN	0～85	400	450～600	270	270	90	170	200	370～520	550	320	600	225
900kN	0～85	420	480～630	280	280	100	180	250	390～540	600	340	650	250
1,000kN	0～85	430	480～630	290	290	100	180	250	390～540	600	360	650	250

※ベースプレートおよびアンカーボルトはセットに含まれていません。
 ※下部構造定着形状は参考です。構造に合わせて検討して下さい。

基本仕様

番号	名称	材質・仕様
①	上沓	SM490A
②	下沓	SM490A
③	ストッパー	SCM435
④	すべり緩衝ゴム	CRゴム + PTFE



東京ファブリック工業株式会社

〒163-0429 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル29階

本店 TEL 03-5339-0875 FAX 03-3348-0695

URL : <http://www.tokyo-fabric.co.jp/> E-mail : ftk@tokyo-fabric.co.jp



仙台支店 TEL 022-227-3145
 東京支店 TEL 03-3340-2820
 大阪支店 TEL 06-6397-7991
 福岡支店 TEL 092-441-2811

札幌営業所 TEL 011-241-7558
 盛岡営業所 TEL 019-622-7375
 宇都宮営業所 TEL 028-689-8825
 新潟営業所 TEL 025-243-1571

名古屋営業所 TEL 052-204-1511
 金沢営業所 TEL 076-264-9511
 広島営業所 TEL 082-224-3764
 高松営業所 TEL 087-833-8842
 鹿児島営業所 TEL 099-253-0201